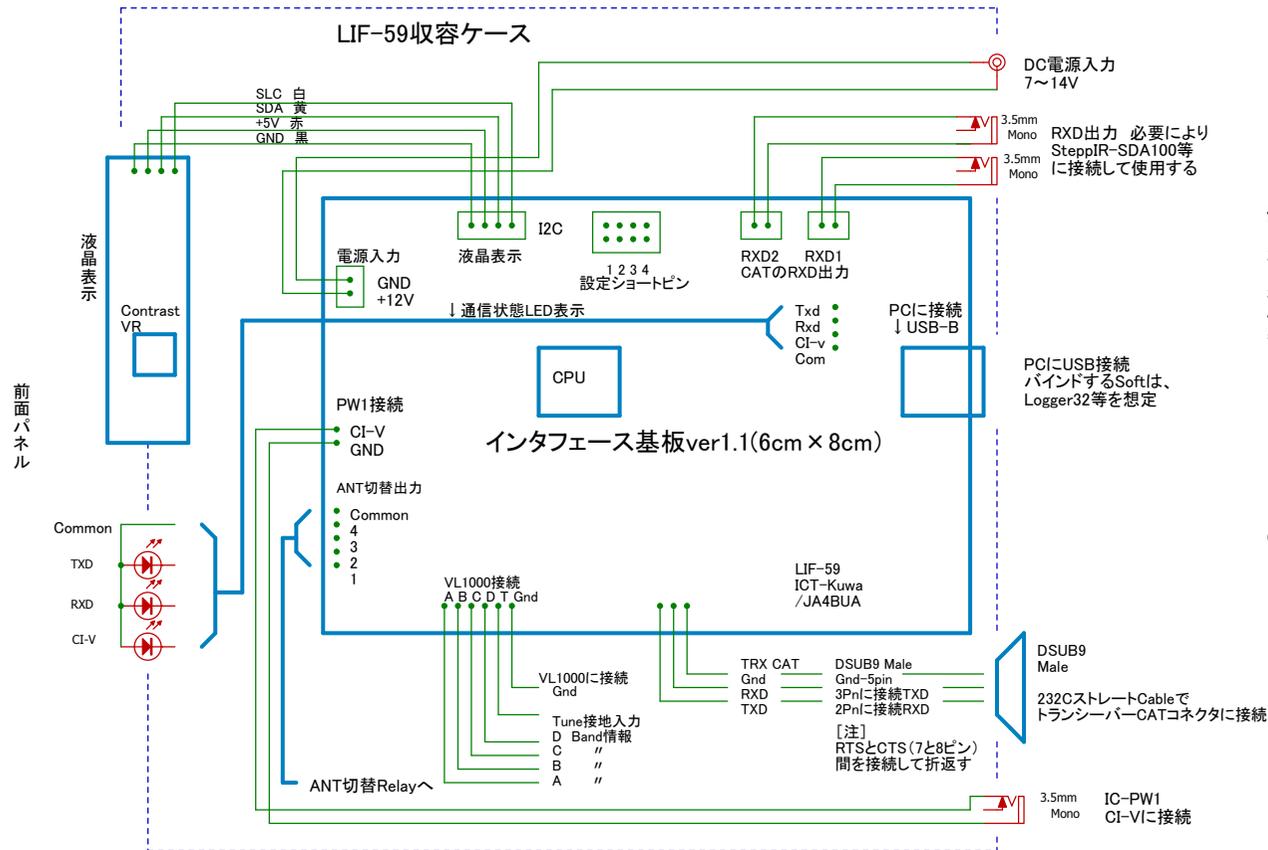


LIF-59 リニアアンプインタフェース 接続図 (基板Ver1.1 2015.4)



使用上の注意

- Yaesu VL-1000接続とアンテナ切替出力は、いずれかの選択
- CATのRXD出力1,2は、SteppiRのSDA100等に接続して使う事を想定オープンコレクタ出力です。
- 前面につける通信表示LED(TXD,RXD,CI-V)と液晶表示は無接続でも動作可能
- VL-1000のTune連動は、Kenwood-TRXとの組み合わせに限る
- ショートピンの設定
 - トランシーバーメーカー設定
開放(High)=Kenwood、Elecraft 短絡(Low)=Yaesu
 - トランシーバー、PCの通信ボーレート
Kenwood: High:9600、Low:19200bps 8N1
Yaesu: High:4800、Low:9600bps 8N2
 - トランシーバーから情報取得するコマンドの設定
High:IF;コマンド Low:AI*;コマンドを使用
 - パラレル出力の用途
High:ANT-SW Low:Yaesu BCD Band 情報
- IC-PW1との通信
ボーレートは、9600bps、8N1固定です。
CI-Vアドレスは、IC-PW1が54h、LIF-59が5Ehの固定です。

図名	LIF-59接続図	年月日	2015. 9. 13
図番	LIF-59 Ver1.1	作成者	ICT-Kuwa